

## あすなる

平成30年度  
大鷹沢小学校たより<http://ootakasawa-e.shiroishi-c.ed.jp/>

第9号

11月27日

文責: 秋山

目指す児童像「かしこく やさしく たくましく」



## 公開直前!!



いよいよ、国立教育政策研究所指定の道徳教育研究会が、明日11月28日と目の前に迫ってきました。白石市内はもとより県内、そして県外からもたくさんの方が来校予定です。

これまで、研究の内容をまとめた「研究紀要」や、当日の授業の流れをまとめた「学習指導案」の作成に全職員で取り組んできました。また、来校した方々に、これまでの研究の経緯や子どもたちの成長の様子を見ていただくことができるよう、掲示物などの校内環境も工夫してきました。毎晩、遅くまで仕事をしたり休日出勤をしたりしている教員の姿を見て、保護者や地域の方々が温かい声を掛けてくださったこともあり、励みとなりました。そして、何より大きな励みとなったのは、子どもたちの成長する姿です。

先日、ある光景を目にしました。本校は新任教員がいるため、非常勤講師が勤務しております。月に一度から二度程度という少ない勤務のため、低学年の子どもの中には、その教員の名前を覚えていない子もいました。2年生の男の子が、廊下でその教員の名前を間違えて呼んでしまいました。すると、その場に、たまたま居た5年生の女の子が、「あららっ、ちゃんと覚えといてあげないと〇〇先生が悲しむよ。」と諭すように言ったのです。何気ない一言かもしれませんが、私は、この言葉に、相手が教員であっても一人の人として慮っていること、注意をする相手が下の学年であることを踏まえて自分の考えがより伝わるような言い方をしていることなど、これまで道徳科で育ててきた心情、態度が養われた一言ではないかと感じました。

道徳教育の効果は一朝一夕に表れるものではありません。しかし、子どもも教員も真摯に道徳に取り組んできたことが、子どもたちの態度に表れてきていることは間違いありません。明日は、「思いやり」と「たくましさ」にあふれる大鷹沢小学校の子どもたちの良さ、子どもに



寄り添う本校教師の良さが、参観者の皆様に十分に伝わることを願っています。当日、PTA本部役員の方々に多大な協力をいただくことを頼もしく思うと同時に心より感謝申し上げます。

さて、10月に、全家庭にお知らせした通り、本校の子どもたちの学力向上に向けて、様々な改善に取り組んでいます。まず、子どもたちの学力を向上させるには、私たち教員の指導法を改善することが必要です。道徳へのエネルギーを他の教科に広げ、子どもたちの力をさらに高めていきます。そして、子どもたちには、道徳科の授業で学んできた力を各教科の学習において発揮してほしいと思います。木曜日の朝、図書館の本を持って登校する子どもの姿を目にしました。水曜日は「ノーテレビ、ノーゲームデー」であり、図書館の本を持ち帰って家庭で読書することになっています。読書によって培われる読解力は、道徳のように即効の効果を期待することは難しいものです。しかし、ひたむきに頑張ることができるよう、

学校、家庭で共に励まし、見守っていきたいと思います。

